

2018. 7. 12

NGO/NPO 等の現状調査の実施について（案）

1. 背景・目的

- ① JICA 中部の所管地域（愛知、静岡、岐阜、三重）で活動する NGO、NPO、公益法人（以下、NGO 等）の情報はこれまでに何らかの関係あった団体に限られている。
- ② 近年、草の根技協への新規団体からの応募は限られており、新規参入団体の可能性を検討するために現状把握が必要。
- ③ 2018 年度の NGO-JICA 協議会のテーマの一つに「国内課題 NPO 等新規アクターとの連携」が挙げられており、現在は国内活動に限定した団体でもその経験を途上国で活用できる可能性のある団体の把握も重要。
- ④ 以上の状況から、域内の NGO 等のリストを整理したうえで、今後 JICA 事業への参画や連携の可能性のある団体に対して、状況を把握する為のアンケート調査を実施し、今後の方針策定（特に支援型）、案件形成、応募勧奨や育成等に活用することとする。

2. 実施の方法

対象：愛知、静岡、岐阜、三重の 4 県に所在し、国内または海外で活動中の NGO 等

方法：

- ① 名古屋 NGO センター、JANIC に加盟、内閣府 NPO 基礎情報に登録している団体の抽出。
- ② 上記以外の団体情報収集、特に各県国際協力窓口が有する情報等から収集（愛知以外は各県国際協力推進員に収集を依頼）し、NGO 等リスト作成。
- ③ リストからアンケート（主な質問事項として、団体基本情報、主な活動内容、海外展開の関心、草の根の認知等。回答し易い内容、分量とする。）送付先の選定、送付。
- ④ アンケート結果の回収、分析、NGO 等データリスト更新。

以上